



平成 28 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド
代表者名 取締役社長 大川 伸
(コード番号 3205 東証・名証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 経理財務担当 福羅 喜代志
(TEL : 03 - 3257 - 5022)

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 2 月 4 日に開示いたしました表記開示資料について、一部訂正を行いましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 28 年 2 月 12 日付「過年度の決算短信等ならびに平成 28 年 3 月期第 1 四半期・第 2 四半期決算短信および有価証券報告書等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が複数に及ぶため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には____下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ダイドーリミテッド

コード番号 3205 URL <http://www.daidoh-limited.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田口 正幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室室長 (氏名) 福羅 喜代志 TEL 03-3257-5022

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,191	△4.8	236	△68.9	523	△40.1	124	—
24年3月期第3四半期	21,204	10.1	761	37.8	873	—	△107	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 454百万円 (—%) 24年3月期第3四半期△450百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	3.67	3.65
24年3月期第3四半期	△3.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	47,350	23,422	49.0	684.39
24年3月期	48,397	24,081	49.3	700.10

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 23,197百万円 24年3月期 23,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,600	△6.6	650	△51.9	920	△45.6	280	△25.1	8.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	37,696,897株	24年3月期	37,696,897株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	3,802,029株	24年3月期	3,617,526株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	33,994,198株	24年3月期3Q	34,481,931株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、緩やかな回復の動きが見られ、円安や株価上昇の兆しにより国内経済回復への期待感が出てきたものの、欧州債務問題や世界的な金融不安の拡大に対する懸念などから、国内景気と個人消費は不透明な状況で推移いたしました。

衣料品業界におきましては、景気の先行き不安や雇用情勢の悪化、所得の伸び悩みなどで消費マインドの改善にはいたらず引き続き厳しい状況下にありますが、11月以降の気温低下などから冬物衣料の販売は堅調に推移いたしました。

このような経営環境が続くなか、当社グループは「お客様第一」「品質本位」の基本理念を基に経営の効率化をすすめております。当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）における衣料事業の中国工場群におきましては、引き続き経費の削減・生産の効率化を進めてまいりました。

衣料事業におきましては、株式会社ニューヨーカーは機能性を付加した商品の提案を増やし、冬物衣料販売が堅調だったこともあり、売上高は前年同四半期を上回りました。一方、OEM（相手先ブランドによる製造卸）は、一部事業の撤退を行なったことおよびグループ生産工場以外で製造加工する事業が利益率が低く資金効率も悪いことから縮小したため、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。

不動産賃貸事業は、小田原の商業施設「ダイナシティ」とオフィス賃貸の売上高が前年同四半期比で減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上総利益は、OEMの製造卸の売上高が減少したことなどにより前年同四半期に比べ139百万円減少いたしました。売上総利益率は前年同四半期の49.2%から51.0%に改善いたしました。

当第3四半期連結累計期間の営業利益は、貸倒引当金繰入額等の増加により販売費及び一般管理費が増加し、前年同四半期に比べ524百万円減少いたしました。

また、受取利息や受取配当金などの営業外収益702百万円、支払利息や持分法による投資損失などの営業外費用415百万円をそれぞれ計上し、投資有価証券売却益の計上や法人税等の減少等により、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は、前年同四半期の四半期純損失から232百万円改善いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は20,191百万円（前年同四半期比4.8%減）、営業利益は236百万円（前年同四半期比68.9%減）、経常利益は523百万円（前年同四半期比40.1%減）、四半期純利益は124百万円（前年同期は四半期純損失107百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,046百万円減少し、47,350百万円（前連結会計年度比2.2%減）となりました。この主な内容は、売掛金の減少、減価償却による固定資産の減少等であり、純資産は658百万円減少し23,422百万円（前連結会計年度比2.7%減）となり、自己資本比率は49.0%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内景気は不透明感が払拭されず、依然として厳しい経営環境が続くことが予想され、当社の業績も影響を受けることが見込まれます。

通期業績見通しにつきましては、売上高27,600百万円（従来予想は27,200百万円）、営業利益は650百万円（従来予想は900百万円）、経常利益は920百万円（従来予想は1,300百万円）、当期純利益は280百万円（従来予想は500百万円）を見込んでおります。

本日別途開示いたします「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,837	2,754
受取手形及び売掛金	4,154	3,350
たな卸資産	5,135	5,266
その他	<u>1,128</u>	<u>1,434</u>
貸倒引当金	△56	△218
流動資産合計	<u>13,199</u>	<u>12,587</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,531	8,527
その他（純額）	3,106	3,196
有形固定資産合計	<u>12,637</u>	<u>11,724</u>
無形固定資産	987	1,020
投資その他の資産		
投資有価証券	18,895	19,550
その他	2,889	2,681
貸倒引当金	△211	△212
投資その他の資産合計	<u>21,573</u>	<u>22,019</u>
固定資産合計	<u>35,198</u>	<u>34,763</u>
資産合計	<u>48,397</u>	<u>47,350</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,352	1,057
短期借入金	3,530	4,030
1年内返済予定の長期借入金	1,330	1,660
未払法人税等	<u>726</u>	<u>1,004</u>
賞与引当金	56	25
ポイント引当金	52	64
その他	2,937	2,819
流動負債合計	<u>9,986</u>	<u>10,661</u>
固定負債		
長期借入金	6,170	5,340
長期預り保証金	6,844	6,611
その他	1,314	1,314
固定負債合計	<u>14,329</u>	<u>13,266</u>
負債合計	<u>24,316</u>	<u>23,928</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,891	6,891
資本剰余金	8,687	8,657
利益剰余金	<u>12,444</u>	<u>11,338</u>
自己株式	<u>△3,786</u>	<u>△3,849</u>
株主資本合計	<u>24,037</u>	<u>23,039</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	474
為替換算調整勘定	<u>△278</u>	<u>△316</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△178</u>	<u>158</u>
新株予約権	140	149
少数株主持分	82	75
純資産合計	<u>24,081</u>	<u>23,422</u>
負債純資産合計	<u>48,397</u>	<u>47,350</u>

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	21,204	20,191
売上原価	10,772	9,899
売上総利益	10,431	10,291
販売費及び一般管理費	9,669	10,054
営業利益	761	236
営業外収益		
受取利息	348	371
受取配当金	152	205
その他	119	126
営業外収益合計	620	702
営業外費用		
支払利息	252	231
為替差損	57	5
持分法による投資損失	149	137
その他	48	41
営業外費用合計	508	415
経常利益	873	523
特別利益		
投資有価証券売却益	—	121
関係会社株式売却益	13	—
その他	2	0
特別利益合計	16	121
特別損失		
固定資産除売却損	36	11
事業構造改善引当金繰入額	120	—
貸借契約解約損	—	5
その他	30	6
特別損失合計	186	23
税金等調整前四半期純利益	703	621
法人税、住民税及び事業税	450	609
法人税等調整額	363	△107
法人税等合計	813	502
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△110	118
少数株主損失(△)	△3	△5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△107	124

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	<u>△110</u>	<u>118</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△195	373
為替換算調整勘定	△114	△56
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	18
その他の包括利益合計	<u>△339</u>	<u>335</u>
四半期包括利益	<u>△450</u>	<u>454</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△445</u>	<u>461</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△4	△6

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ダイドーリミテッド

コード番号 3205 URL <http://www.daidoh-limited.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田口 正幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室室長 (氏名) 福羅 喜代志

TEL 03-3257-5022

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,191	△4.8	236	△68.9	523	△40.1	125	—
24年3月期第3四半期	21,204	10.1	761	37.8	873	—	△98	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 455百万円 (—%) 24年3月期第3四半期△441百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	3.70	3.68
24年3月期第3四半期	△2.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	47,346	23,863	49.9	697.40
24年3月期	48,441	24,521	50.2	713.00

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 23,638百万円 24年3月期 24,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,600	△6.6	650	△51.9	920	△45.6	280	△26.5	8.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 社（社名）、除外 社（社名） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	37,696,897株	24年3月期	37,696,897株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	3,802,029株	24年3月期	3,617,526株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	33,994,198株	24年3月期3Q	34,481,931株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、緩やかな回復の動きが見られ、円安や株価上昇の兆しにより国内経済回復への期待感が出てきたものの、欧州債務問題や世界的な金融不安の拡大に対する懸念などから、国内景気と個人消費は不透明な状況で推移いたしました。

衣料品業界におきましては、景気の先行き不安や雇用情勢の悪化、所得の伸び悩みなどで消費マインドの改善にはいたらず引き続き厳しい状況下にありますが、11月以降の気温低下などから冬物衣料の販売は堅調に推移いたしました。

このような経営環境が続くなか、当社グループは「お客様第一」「品質本位」の基本理念を基に経営の効率化をすすめております。当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）における衣料事業の中国工場群におきましては、引き続き経費の削減・生産の効率化を進めてまいりました。

衣料事業におきましては、株式会社ニューヨーカーは機能性を付加した商品の提案を増やし、冬物衣料販売が堅調だったこともあり、売上高は前年同四半期を上回りました。一方、OEM（相手先ブランドによる製造卸）は、一部事業の撤退を行なったことおよびグループ生産工場以外で製造加工する事業が利益率が低く資金効率も悪いことから縮小したため、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。

不動産賃貸事業は、小田原の商業施設「ダイナシティ」とオフィス賃貸の売上高が前年同四半期比で減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上総利益は、OEMの製造卸の売上高が減少したことなどにより前年同四半期に比べ139百万円減少いたしました。売上総利益率は前年同四半期の49.2%から51.0%に改善いたしました。

当第3四半期連結累計期間の営業利益は、貸倒引当金繰入額等の増加により販売費及び一般管理費が増加し、前年同四半期に比べ524百万円減少いたしました。

また、受取利息や受取配当金などの営業外収益702百万円、支払利息や持分法による投資損失などの営業外費用415百万円をそれぞれ計上し、投資有価証券売却益の計上や法人税等の減少等により、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は、前年同四半期の四半期純損失から224百万円改善いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は20,191百万円（前年同四半期比4.8%減）、営業利益は236百万円（前年同四半期比68.9%減）、経常利益は523百万円（前年同四半期比40.1%減）、四半期純利益は125百万円（前年同期は四半期純損失98百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,094百万円減少し、47,346百万円（前連結会計年度比2.3%減）となりました。この主な内容は、売掛金の減少、減価償却による固定資産の減少等であり、純資産は657百万円減少し23,863百万円となり、自己資本比率は49.9%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内景気は不透明感が払拭されず、依然として厳しい経営環境が続くことが予想され、当社の業績も影響を受けることが見込まれます。

通期業績見通しにつきましては、売上高27,600百万円（従来予想は27,200百万円）、営業利益は650百万

円（従来予想は900百万円）、経常利益は920百万円（従来予想は1,300百万円）、当期純利益は280百万円（従来予想は500百万円）を見込んでおります。

本日別途開示いたします「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,837	2,754
受取手形及び売掛金	4,154	3,350
たな卸資産	5,135	5,266
その他	<u>1,171</u>	<u>1,430</u>
貸倒引当金	△56	△218
流動資産合計	<u>13,242</u>	<u>12,582</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,531	8,527
その他（純額）	3,106	3,196
有形固定資産合計	<u>12,637</u>	<u>11,724</u>
無形固定資産	987	1,020
投資その他の資産		
投資有価証券	18,895	19,550
その他	2,889	2,681
貸倒引当金	△211	△212
投資その他の資産合計	<u>21,573</u>	<u>22,019</u>
固定資産合計	<u>35,198</u>	<u>34,763</u>
資産合計	<u>48,441</u>	<u>47,346</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,352	1,057
短期借入金	3,530	4,030
1年内返済予定の長期借入金	1,330	1,660
未払法人税等	<u>330</u>	<u>559</u>
賞与引当金	56	25
ポイント引当金	52	64
その他	2,937	2,819
流動負債合計	<u>9,590</u>	<u>10,216</u>
固定負債		
長期借入金	6,170	5,340
長期預り保証金	6,844	6,611
その他	1,314	1,314
固定負債合計	<u>14,329</u>	<u>13,266</u>
負債合計	<u>23,919</u>	<u>23,483</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,891	6,891
資本剰余金	8,687	8,657
利益剰余金	<u>12,683</u>	<u>11,779</u>
自己株式	<u>△3,786</u>	<u>△3,849</u>
株主資本合計	<u>24,476</u>	<u>23,480</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	474
為替換算調整勘定	<u>△278</u>	<u>△316</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△178</u>	<u>158</u>
新株予約権	140	149
少数株主持分	82	75
純資産合計	<u>24,521</u>	<u>23,863</u>
負債純資産合計	<u>48,441</u>	<u>47,346</u>

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	21,204	20,191
売上原価	10,772	9,899
売上総利益	10,431	10,291
販売費及び一般管理費	9,669	10,054
営業利益	761	236
営業外収益		
受取利息	348	371
受取配当金	152	205
その他	119	126
営業外収益合計	620	702
営業外費用		
支払利息	252	231
為替差損	57	5
持分法による投資損失	149	137
その他	48	41
営業外費用合計	508	415
経常利益	873	523
特別利益		
投資有価証券売却益	—	121
関係会社株式売却益	13	—
その他	2	0
特別利益合計	16	121
特別損失		
固定資産除売却損	36	11
事業構造改善引当金繰入額	120	—
貸借契約解約損	—	5
その他	30	6
特別損失合計	186	23
税金等調整前四半期純利益	703	621
法人税、住民税及び事業税	169	560
法人税等調整額	635	△59
法人税等合計	804	500
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△101	120
少数株主損失(△)	△3	△5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△98	125

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	<u>△101</u>	<u>120</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△195	373
為替換算調整勘定	△114	△56
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	18
その他の包括利益合計	<u>△339</u>	<u>335</u>
四半期包括利益	<u>△441</u>	<u>455</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△436</u>	<u>462</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△4	△6

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。